

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	資源循環型社会の形成	施策No	07-03	部課名	環境清掃部清掃リサイクル課		
				課長名	嶋根 内線 448		
関連部課名	環境清掃部荒川清掃事務所						
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]					
	政策	地球環境を守るまちの実現[07]					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「大量生産・大量消費・大量廃棄」社会から「最適生産・最適消費・最少廃棄」社会に転換すべく、これまでの大量の物であふれがちな生活から脱却し、ごみを減らす環境に配慮した暮らし方や価値観醸成を図っていく。 ・荒川区の強みである下町の人情あふれるコミュニティを基盤として、環境区民が一体となり、明確な目標と強い問題意識を共有し、持続可能な質の高い循環型社会を形成する。 						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	指標に関する説明
	総排出量：トン/年	71,015	70,322	68,690	69,138	67,263	総排出量 = 総ごみ量 + 資源回収量 (22年度比で、33年度までに10%削減)
	総ごみ量：トン/年	59,374	58,741	57,229	56,294	53,214	22年度比で、33年度までに 59,374 t - 48,082 t に削減 (1人1日当たり200g、25%削減)
	リサイクル率：%	16.4	16.5	16.7	19.0	21.0	$(資源量 / (総ごみ量 + 資源量)) \times 100$ (33年度までに25%が目標)
現状と課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・総排出量の削減に向けては、区民にとって取り組みやすく、3Rのうちで最も環境にやさしいリデュース(発生抑制)に重点を置く必要がある。 ・ごみ排出量の削減に向けては、家庭から出される可燃ごみの約4割を占める「生ごみ」の減量に向けた施策を重点的に行う必要がある。 ・リサイクル率の向上に向けては、新たに今年度から小型家電の回収を開始したが、引き続き、ごみと資源の分別、とくに、可燃ごみに混入している「紙製容器包装類」や不燃ごみに混入している「びん・缶」について、分別の徹底を図る必要がある。 						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの発生抑制(リデュース)に向けた、環境にやさしいライフスタイルやビジネススタイルへの転換を区民・事業者・区が丸となって進めるとともに、生ごみの減量や資源の分別徹底等により、ごみ排出量の削減及びリサイクル率の向上を図る。 ・荒川区ならではの地域密着型集団回収がさらに地域に根付き、そして発展していくよう、支援体制の充実に努めていく。 ・資源のリサイクル体制の更なる強化に向けて、自区内における資源の中間処理体制の充実とともに、新たな資源回収品目の検討・推進を図っていく。 						

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った循環型社会の実現を目指す施策を推進する。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
一般廃棄物処理業等許可事務事業	05-02-01	395	370	推進	推進	業者の資質向上及び取扱量（持込量）の精度向上を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る必要がある。
広報普及事業	05-02-04	4,251	3,455	重点的に推進	重点的に推進	ごみの減量やリサイクルを推進するためには、区民や事業者の意識改革、実践が不可欠であり、一般廃棄物処理基本計画実現に向け、より一層強化していく必要がある。
リサイクル実践活動事業	05-02-06	0	0	継続	継続	区民のリサイクル実践活動がさらに地域に根付くよう引き続き場の提供、支援を行う。
集団回収支援事業	05-02-07	325,720	328,704	重点的に推進	重点的に推進	区のリサイクル支援事業の中核的業務であり、さらなる推進を目指す。
空き缶圧縮機整備事業	05-02-08	0	84	継続	継続	当面、現状の体制で実施していく。
ストックヤード整備事業	05-02-09	158	134	改善・見直し	改善・見直し	規模を縮小の上、当面継続実施する。
普及啓発事業	05-02-10	128	136	推進	推進	区民の3R活動をアシストすることは、さらなる環境意識の向上に不可欠である。
資源回収事業 (清掃リサイクル課)	05-02-11	18,677	16,984	推進	推進	集団回収支援事業と一体的な実施等により資源化を推進させていく。
資源回収事業 (荒川清掃事務所)	05-03-13	7,497	6,211	継続	継続	効率的な回収体制を構築していく。
尾竹橋施設管理運営事業	05-02-12	733	762	継続	継続	現状の体制で実施していく。
生ごみ処理機等購入助成事業	05-02-13	301	225	重点的に推進	重点的に推進	ごみ減量化のためには、生ごみ対策を重点的に行うことが効果的である。
新リサイクルセンター整備事業	05-02-14	6	23	重点的に推進	重点的に推進	循環型社会の形成には、安定的な資源中間処理体制の整備が不可欠なため、優先度は高い。
小型家電リサイクル推進事業	05-02-15			推進	継続	25年度の新規事業であり、区民の排出状況を勘案しながら進める
ペットボトル店頭回収事業	05-03-14	19,250	19,040	継続	継続	27年2月末の廃止に向け、必要な情報収集や対応方法の検討を継続していく。
合 計		377,116	376,128			